

小豆沢病院地域医療連携センター便り

## あずき通信 2014年6月第9号

私たちは患者様の人権を大切に、命は平等の立場で安心して利用できる病院を目指します  
※当院では差額ベッド代を頂いておりません

小豆沢病院ホームページ [www.kenbun.or.jp](http://www.kenbun.or.jp)

発行/医療法人財団健康文化会

小豆沢(あずさわ)病院 地域医療連携センター

発行責任者 事務長:須田 夏生

東京都板橋区小豆沢 1-6-8

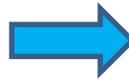
電話 03-3968-7506(直通) Fax 03-3968-7507

(財)日本医療機能評価機構認定(ver. 6)JCO697-2

### <2014年5月1日から小豆沢病院は病床編制が変わりました>

<2014年4月30日まで>

一般病床(72床)  
亜急性期病床(22床)  
回復期リハビリテーション病棟(40床)



<2014年5月1日から>

一般病床(70床)  
**地域包括ケア病床(24床)**  
回復期リハビリテーション病棟(40床)

### 「地域包括ケア病床」ってどんな病床?

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する“という、急性期後の受け入れを始めとする地域包括ケアシステムを支える病床として、2014年4月に新設された病床です。

### 入院(転院)についてのご相談窓口は?

小豆沢病院 地域医療連携センター : 03-3968-7506(直通)  
に ご相談下さい

まめぞうです まずは  
電話で 相談してください!



### 「地域包括ケア病床」にはどういう患者さんが入院できる?

- ・入院期間の上限は60日です。
- ・基本的に、退院後はご自宅に戻るとい患者さんを受け入れます。  
ご自宅の他に有料老人ホームやグループホームに入所予定の患者さんでも大丈夫です。  
それ以外の患者さんについてはご相談ください。
- ・急性期の病院を退院後すぐご自宅に帰れない患者さんが、在宅調整をしてご自宅に戻れるまでの間の転院の受け入れもできます。
- ・在宅で往診などを受けている患者さんが色々な理由で一時的に在宅療養が難しくなった場合など、ご自宅へ戻るための整備や調整をするための入院が受けられます。
- ・地域包括ケア病床では、在宅復帰にむけたリハビリを行います。ただし、リハビリを主とする患者さんについては、病名や発症日によっては回復期リハビリテーション病棟をお勧めします。

※ 他院にご入院中で小豆沢病院に転院をご希望の患者さんやご家族は、まず現在ご入院中の病院の医療相談員の方などにご相談下さい。  
病院間で転院を調整いたします。



## <新任医師の紹介>

### 桑名 慶和医師



昨年 11 月より小豆沢病院で勤務となった桑名慶和(くわな よしかず)です。医師 8 年目とまだまだ未熟ですが、プライマリケアや家庭医などを主体とした地域医療に従事していくことに興味を持っております。現在、病棟や一般内科外来を主に担当させて頂いておりますが、これまで大学病院や総合病院で学んだことを生かし、今後は往診なども視野に入れ、地域の皆様の生活の支えになればと奮闘しております。まだまだ日が浅い新顔ですがどうぞよろしくお願いいたします。

## <職場紹介> リハビリテーション課 岸 千秋課長

リハビリテーション課は現在、PT(理学療法士)23 名、OT(作業療法士)11 名、ST(言語聴覚士)7 名の計 41 名体制でリハビリを 365 日実施しています。

4 階の西側半分がリハビリ室となっており夏は西陽が暑く大変ですが、PT・OT 室がつながっているため明るく開放的な空間となっています。当院の病床数 134 床に対し回復期病棟の 40 名を含め 100 名前後の患者様がリハビリを行っています。

患者様は慢性疾患や内部疾患の高齢者の方が中心ですが、整形外科疾患の方も多く転院されてきます。特に当院は透析治療を行いながらリハビリを継続できる病院として区外や埼玉方面からの受け入れも行っており、家屋評価含め透析通院が安全に行えるよう運動療法や ADL 訓練に力を入れています。

また法人内では往診や訪問看護を行っており、3ヶ所の訪問看護ステーションに院内のスタッフが出向し訪問リハビリを行っています。まだまだ微力ですが「いつでもどこでもリハビリを受けられる場を提供できること」を目標に、入院中から患者様の生活をきちんと見据え、退院後も充実した毎日が過ごせるようチームで取り組んでいます。「小豆沢病院って初めて聞いたわ」という患者様、ご家族様も安心して訓練が継続できるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



## <あずさわ福祉本舗紹介>

### 小西 守博所長



あずさわ福祉本舗は、現在、職員 6 名(常勤 4 名・非常勤 2 名)で業務を行っています。全員が福祉用具専門相談員の資格を持ち、常に新しい用具とその正しい使い方について取り組んでいます。

開設から 10 年経ち、法人外の取引先事業所も 50 か所(地域包括支援センター10・居宅サービス 40)に増え、昨年の 12 月には、レンタル車いすが 273 台・ベッドが 289 台と、板橋区内にある 30 か所の福祉用具ショップの中でも上位を占めるほどになりました。

単に車いすやベッドを納めるだけでなく、在宅環境を整えるための相談

にのり、患者さんが安全に過ごせるための提案をし、迅速な対応をすることをモットーに職員一同努力しています。

今年の 1 月からは小豆沢病院近くに移転し、病院入院中の患者さんがリハビリ途中に立ち寄って杖を選ぶことなどできるようになりました。事務所内では、お試しできる介護用品も多数展示しています。今後は見本用のベッドも展示する予定です。ぜひお気軽に立ち寄ってご相談下さい。

〒174-0051 板橋区小豆沢 1-7-1 ユニオン企画小豆沢ビル

TEL:03-5914-3505

